

記者資料提供（2025 年 11 月 18 日）

（一財）神戸観光局 神戸フィルムオフィス

土屋、福田 TEL：078-262-1261 FAX：078-230-0808



神戸フィルムオフィス設立 25 周年記念 市民向け特別上映会 第二弾を開催

～神戸で撮影された映画を再びスクリーンで、撮影関係者のトークショーも～

日本で最初期に設立されたフィルムコミッションの一つ「神戸フィルムオフィス」は、2025 年に設立 25 周年を迎えました。これを記念しこれまで撮影支援を行ってきた約 300 本以上の映画の中から、5 作品を選び特別上映を行っています。上映作品は神戸フィルムオフィスサポーター（約 1 万 5000 人）による投票で選ばれた作品のほか、特にまちの皆さまの力をお借りして撮影されたものをセレクト。第二弾を 12 月の 2 日間にわたり開催します。

12 月 7 日（日曜）には投票で上位にランクインした、『スパイの妻』を上映。第 77 回ヴェネチア国際映画祭銀獅子賞（監督賞）受賞した戦中の神戸が舞台の作品です。12 月 14 日（日曜）には、『黄金を抱いて翔べ』をお届けします。大阪設定の話ながら、物語の鍵となる重要なロケーション撮影は神戸で行われました。

10 月に開催した第一弾の上映会では、各作品の監督、プロデューサー、カメラマンの方々にお越しいただき、大規模撮影の秘話やカメラを通して見た神戸の魅力など、「神戸×映画」についてそれぞれの視点から語っていただきました。

第二弾となる今回は、美術デザイナーやプロデューサーと撮影を裏で支えた地元関係者を招聘。撮影当時のエピソードや制作の裏話を交えながら、映画を通じて神戸の魅力を紹介します。



©2020NHK, NEP, Incline, C&I



©2012「黄金を抱いて翔べ」製作委員会

■イベント概要・上映作品

イベント名：神戸フィルムオフィス設立 25 周年記念特別上映会・第二弾

料金：一般 1,300 円（税込）

申込方法：各劇場の WEB サイトにてチケット販売

主催：神戸フィルムオフィス（一般財団法人 神戸観光局）

URL：https://kobefilm.jp/topics/2025/11_001052.html

① 開催日時：12 月 7 日（日曜）午後 2 時～

上映作品：『スパイの妻』

監督：黒沢清

出演：高橋一生、蒼井優 ほか

劇場：シネリーブル神戸

チケット販売開始：11 月 28 日（金曜）午後 6 時～

ゲスト：安宅紀史氏（美術デザイナー）

森本アリ氏（旧グッゲンハイム邸管理人）

形式：上映後トークショー

トーク内容：メインロケ地となった旧グッゲンハイム邸の映画美術の世界など

主なロケ地：旧グッゲンハイム邸、旧加藤海運ビル、

神戸市電（神戸市交通局名谷車両基地）、神戸税関



『スパイの妻』旧グッゲンハイム邸での撮影風景

② 開催日時：12 月 14 日（日曜）午前 11 時～

上映作品：『黄金を抱いて翔べ』

監督：井筒和幸

出演：妻夫木聡、浅野忠信 ほか

劇場：キノシネマ神戸国際

チケット販売開始：12 月 7 日（日曜）午前 0 時～

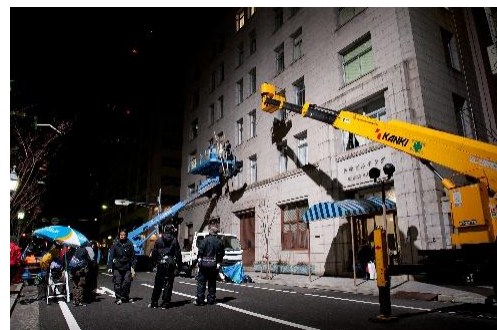
ゲスト：湊谷恭史氏（ダーウィン プロデューサー）

中井秀典氏（元神港ビルディング管理部長）

形式：上映後トークショー

トーク内容：劇中で【銀行】となった神港ビルディングでのロケーション撮影の極意など

主なロケ地：神港ビルディング、阪神元町駅西口、中央水環境センター、高砂ビル



『黄金を抱いて翔べ』神港ビルディングでの撮影風景

■開催への想い

神戸フィルムオフィス 25 周年記念上映会は、これまでの撮影支援活動を振り返り、地域と映画の関係を改めて見つめ直す機会として企画しました。

第一弾では、エキストラや地域の協力者など多くの市民の皆さまに会場いただきました。撮影監督からは「神戸は“気配のある街”で、それが映像に映り込む」という言葉が寄せられ、改めて“映画のまち神戸”としての独自の魅力を再確認する機会となりました。

神戸が撮影地であることを、もっと市民の皆さまに知ってほしい、いつも撮影に協力してくださる市民の方々に感謝を届けたい、“映画のまち神戸”の魅力を、次の世代にも伝えていきたい。そんな想いから生まれた、地域と映画をつなぐ特別上映会です。

25th
ANNIVERSARY

KOBEFILMOFFICE

25 周年を記念したロゴ